

短 報

島根県江津市産ブルーギルに寄生していたヤマトニセエラジラミ*

長澤和也・新田理人

Neoergasilus japonicus (Copepoda: Ergasilidae)
parasitic on bluegill (*Lepomis macrochirus*) in a
pond, Gotsu City, Shimane Prefecture, Japan

Kazuya NAGASAWA and Masato NITTA

Abstract A total of 68 adult females (1-34 [mean 8.5] individuals per infected host) of the ergasilid copepod *Neoergasilus japonicus* (Harada, 1930) were collected from the fins of 8 (62.5%) of the 13 bluegill (*Lepomis macrochirus*) captured from a pond in Komosawa Park, Gotsu City, Shimane Prefecture, Japan, on 17 October, 2012. This collection represents the first record of *N. japonicus* from Shimane Prefecture. The females of *N. japonicus* were most abundantly attached to the dorsal fin, followed by the caudal and anal fins.

ヤマトニセエラジラミ *Neoergasilus japonicus* (Harada, 1930) は極東アジアの淡水魚類に寄生するカイアシ類の 1 種である (長澤ほか, 2007). 近年, 本種は欧米や南アジアに移入され定着している (Nagasawa and Uyeno, 2012). 筆者らは, これまで記録のなかった島根県において, 本種を確認したので報告する.

2012 年 10 月 17 日, 島根県江津市の菰沢公園内の菰沢池 (35°1'53"N, 132°16'43"E) で釣獲したブルーギル (*Lepomis macrochirus* Rafinesque) 13 尾 (全長 99-157 [平均 130] mm) (図 1) を直ちに 5% フォルマリン液で固定して, 広島大学に持ち帰った. このブルーギルの寄生虫を調べたところ, 8 尾 (寄生率 62.5%) の鱗にヤマトニセエラジラミ雌成体の寄生を認めた. 被寄生魚 1 尾当たりの寄生数は 1-34 (平均 8.5) 個体で, 合計 68 個体が採集された. 背鱗が最も多く寄生を受け (45 個体), 次いで尾鱗 (12 個体), 尻鱗 (11 個体) の順であった.

*ホシザキグリーン財団委託業績 第 76 号

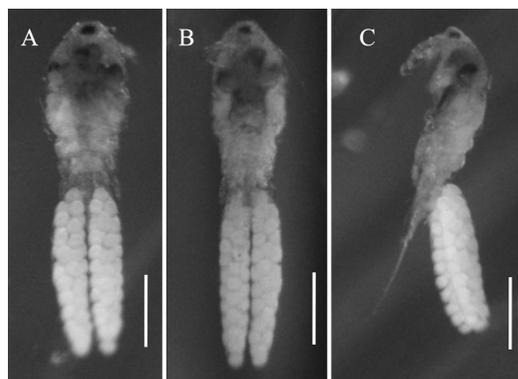


図 1 江津市産ブルーギルより得られたヤマトニセエラジラミ雌成体. A, 背面; B, 腹面; C, 側面. スケール: 200 μ m.

Fig.1 *Neoergasilus japonicus* (Harada, 1930) from *Lepomis macrochirus* collected from a pond in Gotsu City, Shimane Prefecture, Japan. Dorsal (A), ventral (B) and lateral (C) views of an alcohol-preserved ovigerous adult female. Scale bars: 200 μ m.

ヤマトニセエラジラミは, 日本国内では北海道, 広島県, 長崎県, 沖縄県から報告されており (長澤ほか, 2007; Nagasawa and Uyeno, 2012), 島根県からは初記録である. わが国では, ヤマトニセエラジラミは在来魚類よりもブルーギルやブラックバス (*Micropterus salmoides* (Lacepède)) のような北米起源のサンフィッシュ科魚類によく寄生する (Nagasawa and Inoue, 2012). また, 本種がブルーギルの背鱗に多く寄生することは Nagasawa and Obe (2013) によっても報告されている. ブルーギルとヤマトニセエラジラミの標本はともにホシザキ野生生物研究所にて保管されている.

謝辞: 本研究はホシザキグリーン財団から支援を受けて行われた. 記して感謝する.

【文献】

- 長澤和也・海野徹也・上野大輔・大塚 攻 (2007) 日本生物地理学会会報, **62**: 43-62.
Nagasawa, K. and A. Inoue (2012) *Zoosymposia*, **8**: 81-96.
Nagasawa, K. and M. Obe (2013) *J. Nat. Hist.* (in press).
Nagasawa, K. and D. Uyeno (2012) *Zoosymposia*, **8**: 106-116.

(長澤: 広島大学大学院生物圏科学研究科)
(新田: 広島大学生物生産学部)